

総合英語 I B (総合英語) ①～⑩

岡村 光浩・小橋 薫・長岡 明・西 敬尚

リテラシー (語学) 講義 1～4年次 前期・後期 2単位 ※予備登録実施、「その他」参照

授業目的・方針、到達目標

「読む・書く・聞く・話す」の4技能を総合的に訓練する。まず教材(クラスにより異なる)の英文を声に出して読む/パートナーと会話練習することで英語のリズムを体に覚え込ませる。読み物の部分では、基礎英文法を確認しつつ文意を的確に把握する練習をすると共に、本文聞き取りや音読を反復練習する。教材についての感想を英語で話したり書いたりする練習も行っていく。英語で情報をinputするための基礎力を鍛え、失敗を恐れずoutputする姿勢を身につけることを目標とするが、海外事情や文化についても、楽しみながら理解を深めてもらいたい。

授業内容

- 1 : オリエンテーション (授業のねらい、テキストについて、学習の進め方、その他)
- 2 : Lesson 1 Physical Education 体育の後はシャワーですっきり
- 3 : Lesson 2 Sports Clubs あれもこれも、いろいろやりたい
- 4 : Lesson 3 Cultural Differences いいところもあれば、悪いところも
- 5 : Lesson 4 Haircuts 至れりつくせりでリラックス
- 6 : Lesson 5 Music レンタルCDはお買い得
- 7 : Lesson 6 Money 高額の現金を持ち歩くのはドキドキ
- 8 : 前半のまとめ
- 9 : Lesson 7 Safety 夜に出歩いても、財布を失くしても安心?
- 10 : Lesson 8 Life Expectancy 日本人の長寿の秘訣は?
- 11 : Lesson 9 The Metric System メートル法は合理的なのに
- 12 : Lesson 10 Police 交番制度の弊害
- 13 : Lesson 11 Seasons 変化に富んだ日本の四季
- 14 : Lesson 12 TV Sports いまひとつ熱狂的でないスポーツファン
- 15 : まとめ

準備学習

中学・高校英語、特に基礎的な英文法と語彙を徹底的に復習しておくことが望ましい。

評価方法

平常点(宿題・予習状況・受講姿勢)・小テスト/提出課題・定期試験により総合的に評価する。

使用テキスト

ジョージ・トラスコットほか『そのまま日米比較』南雲堂、2009年

参考テキスト

担当講師より指定・またはプリント等を配布する場合がある。

各自準備物

辞書(書籍版中辞典を推奨) : 学研『アンカーコズミカ英和』、大修館『ジーニアス英和・和英』等

その他

プレイスメント・テストの結果に基づき教学課が指定するクラス・時間帯の内から選んで受講することを原則とする。なお総合英語Ⅱの履修には総合英語Ⅰの単位取得が必須である。

1. テキストは総合英語ⅠB・ⅡBで同じものを継続使用する。十分予習した上で授業に臨むことは大前提である。
2. 欠席は原則4回まで(予備登録期間含む)。なお遅刻30分以上は欠席扱いとする。
3. 授業内容についてはクラス毎の進度等により調整する場合がある。その他詳細は各担当講師より指示する。